

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	大垣市立ひまわり学園		
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日		～ 令和7年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	289	(回答者数) 217
○従業者評価実施期間	令和7年9月1日		～ 令和7年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	7年 11月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの活動スペースが十分確保され、清潔で心地よく過ごすことができる環境を整えている。また、活動に合わせて柔軟に活用できること、「環境の良さ」「活動に合わせた柔軟性」。	療育の内容や人数によってホールやプレイルーム、集団指導室、個別指導室などを使い分けている。整理整頓に心がけ安全な療育ができる環境づくりをしている。	この環境をより活かすために、子どもが理解しやすいよう絵や掲示物を用いた視覚支援を行い、楽しく安全に活動できるよう注意喚起を工夫している。
2	子どもを理解し、子どもと保護者のニーズや課題が児童発達支援計画に反映されたものになっている。	それぞれの発達段階や特性を理解するとともに、子どもや保護者のニーズを丁寧に聞きとりながら具体的な支援内容を説明し、計画を作成しています。	他職種との連携を強化し専門的な視点を取り入れることで、より質の高い支援計画を作成していく。
3	子どもや保護者の話を聞き、気持ちに寄り添い、共感を大切にした支援を行っている。	「親子通園」「親子療育」のアプローチにより、保護者に療育の様子を見学していただいたり、療育に保護者も参加していただいたり、保護者が相談しやすい体制や環境づくりをしています。保護者が参加・見学でき、安心して利用できるよう支援をしています。	今後も子どもと保護者に信頼される事業所であり続けるために、保護者と連携をさらに強化し、気持ちに寄り添った支援と療育に楽しく通ってもらえるよう療育内容の工夫への取組んでいきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が公表している支援プログラムがわかりにくい。	支援プログラムは法人ホームページで公表しているものの、分かりにくく、保護者に周知されにくい状況である。	保護者にホームページの存在を定期的に案内する。支援プログラムの情報を施設内掲示や個別支援計画を通じて保護者への周知を強化するとともに、家族支援に関する研修や情報提供の機会を充実させていきます。
2	各マニュアルにおいては策定されているが、保護者への説明、周知の方法においては改善が必要に思われる。	マニュアルの周知・説明については書類等でページ数も多く時間が限られている中で行き届いてないところがある。また掲示場所が少なく、わかりやすい場所に掲示できていないところがある。	マニュアルについては、わかりやすい場所に掲示・設置をし、周知をしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 大垣市立ひまわり学園

公表日 令和7年 12月 1日

利用児童数 289

回収数 217

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	214	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの部屋があって、運動の時は広い部屋に移動できるので良い。 ・個別や集団等活動に適した部屋の大きさととても良いと感じます。 ・今までに1, 2回ですが、大きい部屋が使えなかった時なのか、いつもの部屋で滑り台をしていて、勢いあまってぶつかったりがあったので、走り回るにはいつもの部屋だと小さいかなと思いました。 訓練内容によって、広い部屋に行ったり使いわけているのでよいと思います。 	・今後も療育の内容にあった部屋の使用を考え、整理整頓を心掛け安全な療育を継続できるようにしていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	206	8	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼマンツーマンに対応してくださる人数なので満足です。 ・子ども一人に対して一人の先生がついてくださっているので、ありがたいです。 ・目が行き届く人数にさせていただいて、集団行動から離れそうな時にもサポートしていただけます。 ・集団では数人の先生が見てくださり、たくさんの目で見て褒めて下さるのでありがたいです。 ・子どもの機嫌にもよるが、足りてない時もある。 ・体調不良が多く休みがちなので、グループ人数の増減もあってよくわかりません。 ・子ども6人前後で先生2人だと先生が大変そうに思う。 ・男性の職員を増やしても良いと思う。 	・人員配置については基準以上で整えています。クラスの人数やお子さんの状態にあった職員配置を考えて今後も療育に努めていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	208	5	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・段差があまりなく、部屋も絵がついてわかりやすいです。 ・本棚等は扉付きで療育中は目につかないので集中できる。 ・親子療育でないため（ホワイトボード）にカレンダーやお知らせを貼る必要はないと思う。廊下や見守り室にもありますし、声の大きさについてもその都度見せた方がよいのではと思いました。 ・絵で示されていて子どもにとっても部屋がわかりやすいようです。 	・今後も注意喚起や活動場所がわかるように絵等を使用し、わかりやすい位置に掲示して設備等使いやすいように努めていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	217	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもとても清潔に管理されていてありがたいです。 ・先日子供とトイレに行きました。すごくきれいにされていて快適でした。 	今後も毎日清掃、整理整頓を行い清潔が保たれるよう努めていきます。 危険箇所がないよう安全チェックを行っていきます。

適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	193	17	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手なことは強要せず、出来ることから少しずつ慣れていけるようやったださっていると思います。 ・子どもの特性をよく把握して寄り添った支援をしていただけています。 ・できないことでもチャレンジできるよう支援してもらっている。 ・先生によって力量の差はあるのかなどは感じる。 ・もう少し「話す」ことに特化した内容があるかと思った。 ・こどもの特性はひとりひとり違うが、トレーニングは同じ内容なので職員が個々に応じた対応をしてもらえば特性に応じているといえるが、ばらつきがある。 ・専門性なのかそもそも自分の知識不足でわからない。 	集団、少人数と子どもの特性にあわせ、発達や状況を捉えて支援をしていきます。さらに職員の専門性の向上に努めていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	200	5	0	12	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の支援プログラムがわからない。見守り室、入口などに掲示してほしい。 	今後、事業所の支援プログラムの公表をわかりやすく行い、周知をしっかりとしていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	206	6	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングなどは細かくしていた満足している。 ・よくお話を聞いてくださり、その内容がいかにされた計画になっていると思う。 	今後もそれぞれの特性を理解し、子どもや保護者のニーズを聞き、計画を作成していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	198	9	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・とても明確で段階的でわかりやすいです。 ・移行支援についてはよく分かっています。 ・児童発達支援ガイドラインの内容をよく知らない、分からない、項目が適切に設定されているかの評価は保護者にはちょっと難しい気がする。 	ガイドラインの説明をわかりやすく行いながら、今後も子どもの支援に必要な具体的な支援内容を設定していきます。家族支援、移行支援についての内容にし、ご理解していただけるようご説明できるようにしていきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	203	5	0	9	<ul style="list-style-type: none"> ・参加してくれないからなんとも言えない。 ・個の性格や特性に合わせて関わってくださるのでありがたいです。 	それぞれの特性や発達、状況など捉えまた保護者のニーズ等も捉えながら、確認を行い支援していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	196	12	0	9	<ul style="list-style-type: none"> ・機会はありますが参加できていないので。 ・手先に働きかける活動、体に働きかける活動など、毎回子供があきないように工夫されています。 	今後も1人1人の発達にあったプログラムを考えて提供していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	122	26	21	46	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導なのでなかなかここでは機会がないです。 ・未就園児想定の質問？ ・地域のおまつりなどがあれば参加しています。 	東高等学校の生徒との交流では、園に生徒が訪問し交流したり、高校に園児が出向いて生徒が考えた企画に参加して交流をしています。また「移動動物園」では近隣の小学校、保育園の生徒や児童に資源を提供しています。今後も交流の機会が増えるようになっていきます。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	211	3	0	2	書面の配布や掲示をおこなっています。説明時にご不明な点などお気軽に質問等お聞きください。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	204	3	3	7	面談時やモニタリング時に説明をしています。説明時にご不明な点などお気軽に質問等お聞きください。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	191	7	2	17	・親の会のお便りもとてもためになります。療育後のその日の療育内容のねらいの説明もためになります。	保護者向け講演会や就園就学に向けた学習会を実施しています。個別でご質問がある場合はその都度お声かけください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	193	20	2	2	・日々の療育の時にもう少しお話ができれば嬉しい。 ・悩みや困りごとに対して親身になって耳を傾けて下さったり、具体的にアドバイスして下さるのでありがたいです。 ・週1回なので日頃からというのは少しむずかしい。 ・昨年は療育後1対1で先生が個別に今日どうだったかのお話を下さっていたので、そこで気になることがあれば相談したりもできていましたが、今年はまとめてみんなの前でどうだったかのお話をしてその後はいつも同じ方が先生をつかまえてお話をされているのでだんだんまあいいやという感じになって、昨年の方が個人的には良かったです。 ・トレーニングの時間を少し短くして、保護者と職員が話し合える機会をもっと増やした方が良かった。できている事もそうだが、どうしてまだできないか原因を考えたり、それに対するアプローチ方法を助言して頂けるとありがたい。 ・活動の後にその日にあった出来事や詳細を教えてください。先生1人1人とお話をできてうれしいです。	気になることがありましたら、いつでもご連絡ください。 今後も療育時にお話しをする時間を増やしていきたいと思っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	197	15	0	5	・まだ通いはじめたばかりでわかりません。 ・「最近はどうですか?」と声掛けして下さる先生がいるのでありがたいです。(具体的に「〇〇はどうですか?」とか・トイレとか、食事とか) ・保育園に訪問して様子も見えていただけのもありがたい支援です。 ・3か月に1回ペースであるありがたい。	今後も定期的な面談をおこない、適切な助言等ができるよう、職員のスキルの向上に努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	212	4	0	1	・子供のできることに目を向けて下さるので成長を感じ、うれしいです。	子どもや保護者から相談しやすい環境づくりをしています。またみなさんが安心して利用できるよう支援をしています。

18	<p>父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。</p>	158	17	4	38	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士は交流する機会が多いと思う。きょうだい児同士はもし機会があるのならあるとうれしいと思う。 ・以前より親の会の活動も周知されているように感じます。 ・コロナ禍で殆どなかったが、今年度企画されて楽しみです。 ・もっと多く機会を設けてもらえると参加しやすい。 きょうだい同士の交流があると楽しそうだなと思いました。（平日や習い事等と被ると難しいかもしれませんが。） ・平日だと時間がとれず存在は知っていても参加したことはないです。きょうだいへの支援は無いと思います。 ・毎週見ているとダメですか？上の子の帰宅時間もあるため月に2回や最初と最後だけなど工夫して頂けるとありがたいです。 ・子供1人なのでわかりません。 	<p>親の会の役員会の報告や親の会主催の行事、活動については掲示板やLINE等にて周知しています。きょうだい向けのイベント等につきましては、親子参観日、夏祭りとなります。今後交流の機会が増えるように努めていきます。</p>
19	<p>子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。</p>	184	10	2	17	<ul style="list-style-type: none"> ・困ったことや調べたい事がある時に相談すると、資料をいただけたり、情報をすぐにいただけるのでかなり頼りにしています。 ・初めて発達相談をした時に、親身に話を聞いて下さり、アドバイスも的確とても安心しました。 ・栄養士さんに食事相談ができたのはすごく助かりました。 ・いつも親身に対応してくださり感謝しております。 ・いつも丁寧に親身に親の話を聞いて下さり感謝しています。 ・療育に通いたいと相談してから実際に通うまで長い期間があった。 	<p>今後も迅速にご相談に対応できるようにしていきます。いつでもお声をかけてください。</p>
20	<p>子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。</p>	201	8	0	4		<p>ご相談がありましたらいつでもお声かけください。</p>
21	<p>定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。</p>	180	13	2	18	<ul style="list-style-type: none"> ・直前の行事（もちもの等）のれんらくは困るかなと思いました。プールの有無を電話で確認しなければならなかったのも、何かしらの方法で当日朝、周知できると良い。準備に影響があるので。LINEを活用できれば良いと思う。 	<p>ホームページや機関紙等で情報を発信しています。行事等は、出来る限り適時ホームページにて掲示し、自己評価につきましては公表しています。</p>
22	<p>個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。</p>	200	2	3	9	<ul style="list-style-type: none"> ・安心していろいろ話しています。 	<p>取扱いについては十分に注意し管理しています。必要に応じて、その都度、保護者に同意をお願いしております。</p>
23	<p>事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。</p>	173	18	3	19	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもも訓練を何度か経験し、慣れてきたようです。 ・利用の紙（上限管理表）他の人のもの見えて困る（見守り室から） ・週1回だとなかなか難しいと思います。 	<p>マニュアルについては、わかりやすく周知をしていきます。また、避難訓練についても多くの方に参加していただけるように避難訓練週間を設けて訓練にとりくんでいます。</p> <p>個人情報を含む書類においては、会議で話し合い裏向きに置いたり、不透明のファイルに入れるなどを徹底するよう周知しました。</p>

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	180	10	0	23	<ul style="list-style-type: none"> ・通いはじめたばかりでわかりません。 ・分らないです。(災害時、避難経路以外) どこか掲示してください。 ・週1回だとなかなか難しいと思います。 	年間の計画の中で避難訓練や災害訓練を行っています。また職員においても定期的な訓練をおこない全職員が対応できるようにしています。今後も避難経路についてはわかりやすく掲示していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	185	7	1	21	<ul style="list-style-type: none"> ・通いはじめたばかりでわかりません。 ・週1回だとなかなか難しいと思います。 	毎月安全チェックをおこない職員で周知している。今後も安全・安心して利用していただけるよう努めていきます。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	172	8	2	30	<ul style="list-style-type: none"> ・通いはじめたばかりでわかりません。 ・子供どうしの意図しないケガやトラブルでも何があったのかをしっかりと伝えてくださります。お手当も十分すぎるくらいしてくださいます。 ・LINEを活用されていると思います。 ・週1回だとなかなか難しいと思います。 	事故等発生時は速やかな連絡をおこない対応をしております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	204	9	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しいとかうれしいとか言わないのでわかりません。 ・笑顔が増えてうれしいです。子供にとっても安心して通える場所になりつつあります。 ・まだ通所して3回目なので徐々に慣れてきているが不安もあると思う。 ・大切なひとつの居場所として考えられています。先生方に信頼を寄せています。 ・人見知りとする我が子ですが、ニコニコして活動できています。優しく関わってくださる先生方のおかげです。ありがとうございます。 	安心して利用できるように毎月安全チェックをおこなっています。今後も利用を楽しみに通っていただけるように努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	198	11	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが「今日ひまわり(に行く)の日」と聞いてきたり、「今日は何するのかな」と言ったりして楽しみにしています。家や保育園ではなかなかできない活動もあり、とても楽しいようです。 ・まだ通所して3回目なので徐々に慣れてきているが不安もあると思う。 ・療育後にその日にやったことをたのしく振り返ることができています。 ・気持ちのムラがあるため行きたいでも近くになるとイヤがることが多い。 ・「ひまわり行きたい」と言って毎週とても楽しみにしています。 ・本人は毎回とても楽しみにしています。 ・基本的には楽しみに参加できていますが、その日の気分によっては行くのを渋ったり、母から離れない日もあります。 ・苦手なことがあるようですが、毎回行きたいと言って来ています。 ・のびのびと楽しくすごしています。 	今後も皆様が楽しくひまわり学園に通っていただける場所になるように努めていきます。

	29	事業所の支援に満足していますか。	200	12	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・泣きさけぶから他の人に迷惑をかけているようで申し訳ないです。 ・これからもよろしく願い致します。 ・子どもに真摯に向き合ってください、寄り添った支援をしてくださり感謝しています。先生方に頼ることができるようになりました。 ・近くで少しずつ成長する姿を見れてとても嬉しいです。ありがとうございます。 ・時間が少しもの足りなく感じる。 ・他の子につられることがあって、去年と比べると泣いたり、怒ったり、大きい声を出すことがふえた。また先生に相談したいと思う。 ・いつもありがとうございます。 ・作業療法士さんが入られたということなのでまた今後違った目線でアドバイスを頂けたらさらに良いなと思います。 	<p>1人1人にあった丁寧な支援を心掛けてとりこんでいます。今後も皆様からのご意見や要望をいただきながら工夫し、専門的な支援も加え、満足していただける支援ができるよう努めていきます。</p>
--	----	------------------	-----	----	---	---	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		大垣市立ひまわり学園		公表日		令和7年 12月 1日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		17	1
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		15	2	職員の勉強のため、人数が多いと感じる時もあるが、その都度臨機応変に配置を考えているようにしている。 療育後等に話し合う場を設けて、こどもの状態や人数の実態にあわせて職員の配置数が適切かどうか児発管とも相談して検討している。	常にこどもの状態等にあわせて適切な職員配置を考えて対応していく。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		17	1	バリアフリーに配慮されている。 写真や図など視覚的に分かりやすくしている。	環境整備においては、引き続きこどもにわかりやすく、保護者の意見を聞き、環境を整えていく。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		18	0	毎日の清掃、消毒を行っている。 整理整頓、安全チェックを行いこどもが安全な空間をつくっている。	感染予防対策などを実施し、活動にあわせて部屋の設定環境を整えていく。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		16	2	こどもの状況に応じて個別の部屋や場所を常に使用することが出来るよう整えている。	一部机や椅子を置く場所になっているため、改善をしていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		16	2	支援については支援会議を定期的に行って振り返りと次の目標を確認している。業務改善については職員会議で議題に上げている。また振り返りもおこなっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		16	2	年2回アンケートを実施 栄養士、作業療法士によるアンケート、その他行事、研修会後などにアンケートをとっている。	職員全員で閲覧し内容を把握し、今後の業務に活かしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		13	5	職場会議、支援会議、委員会、行事等の反省会を行っている。 職員へのアンケート、働き方アンケートを行っている。	業務改善につなげていけるように常に話合いの機会を設けている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		15	2	外部評価は行っている。評価結果を共有して、改善点については、話し合いをおこない改善できるよう努めている。	業務改善結果を公表できるように努めている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		18	0	園内での研修や外部講師を招いての研修、自主研修など受講する機会あり、内容も豊富でスキルアップできるよう努めている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		17	1	子どもの発達の捉えと保護者のニーズをアセスメントして支援計画に反映している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。		17	1	定期的に個別懇談(モニタリング)を行っている。子どもと保護者の意向をもとに作成している。	個別支援計画やモニタリング報告書が期限内に実施、保護者に説明し、手渡せるようにする。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		18	0	個別支援会議を行うことで、1人1人の支援について共通理解を図るようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		16	2	会議等職員間で共有し、計画に沿った支援をおこなっている。 担当職員から他の職員に支援内容の説明と、児童発達支援管理責任者から助言がある。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	5	最初の申請と更新時に、受給者証更新時に年齢別判断基準調査表を用いて確認している。	担当者が保護者からの聞き取りや子どもの状態を経過を追ってアセスメントし、加筆していけるようにする。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18	0	ガイドラインに示されている内容を理解し、本人や保護者の思いを聞き、支援内容に踏まえて計画に盛り込み設定している。	児童発達支援のガイドラインや5領域の内容について職員全員が周知できるようにしていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	17	1	リーダーがクラス内で事前に確認をしている。	リーダーが1人で決めていることが多いので、グループで意見を出し合い活動プログラムに取り入れながら立案していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18	0	研修や実践発表、施設見学、ビデオカンファレンスで自分の療育を客観的に見たり助言をもらう機会を作るなど、療育内容がマンネリ化しないように新しい視点で考えるようにしている。	今後も、研修等を通して新しい視点や方法を取り入れていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	18	0	子どもの特性にあわせて発達や状況を捉えて、子どもや保護者に説明、同意を得て計画を作成し、支援している。	子どもの発達の状態に応じて、個別療育と集団療育を柔軟に取り入れていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	3	療育の事前打ち合わせを行い、支援の流れをリーダー中心に役割分担を確認して実施している。	子ども一人ひとりの目標や、その日の療育のねらいを職員全員が理解して取り組めるようにしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	6	支援後には、職員間で支援の振り返りを行い、意見等を話して、気づいた等を次回の支援に活かしている。	療育が続くときは、時間を見つけて話し合いの場を設け、共有するよう努めている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18	0	記録を必ずとり、職員間で時間をとり、相談しながら支援の検証、改善を行っている。	グループとしての目標、個人の目標、子どもの姿、達成度、次の課題まで考えながら記録が書けるようにしていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	17	1	モニタリングを通して達成度や課題を整理し、見直しの必要性を判断して見直しをおこない、保護者と共有できるようにしている。	モニタリングで聞き取った課題をできるだけ療育に取り入れていけるようにする。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18	0	会議の日程を調整し、担当職員ができるだけ参画している。	同じ事業所の相談支援事業所とは連携が取れているが、その他の相談支援事業所との情報交流を増やしていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	18	0	保育所等と連携は、保育園訪問、保育士の見学受入や研修会への参加、巡回指導など積極的に行っている。医療機関との連携は、市民病院小児科医師による年2回の健康診断と希望者に発達相談を行なっている。保健センターは、1歳半、3歳児健診の発達相談やフォローアップ教室を市の委託で行なっている。担当職員や管理栄養士、作業療法士も積極的に他の児童発達支援事業所や病院のリハビリの見学に行き、情報共有を行なっている。	今後も引き続き他機関との連携体制をとっていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	2	保育所等訪問支援を行っている。保護者の同意のもと支援内容等の情報共有や相互理解のため連絡をとりあっている。	保育士や保護者に、訪問支援の内容や取り組みや有効性について広く理解していただけるようにする。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17	1	スマイルブックの引継ぎを行っている。またセンターとして、卒園者の相談等を受けている。	今後も相談等や支援体制の相互理解のため、交流をおこなっていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	17	0	地域の障害児通所支援事業所等と年4回の連携会議を開催。講師を招いての講演会や会議をおこない地域全体の質の向上にむけた取り組みをおこなっている。	連携会議の参加人数を維持しながら、地域の課題などの取り組みも連携して取り組んでいく。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	17	1	外部の専門家講師の講演会や各種研修に積極的に職員を参加させている。また、専門機関への見学や助言をうけ質の向上に努めている。	今後も管理栄養士、作業療法士など専門的な職員においても、引き続き外部研修を受けて質の向上をしていく。
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	15	2	こども支援部会、暮らしを支える協議会など、積極的に参加をしている。		

	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	12	6	地域貢献事業（移動動物園や講演会）や地域の地区センター祭りへの作品の参加による交流の実施。	地域の幼保園や小学校等との行事を通じた交流の機会をつくり、信頼関係を築いていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	17	1	子どもの特性や発達を捉えて、子どもや保護者とコミュニケーションをとっている。	療育後には、子どもの発達や課題について日常的に少しでも話せるように心がけている。必要な時は別日に懇談の時間を設けるように保護者に声かけをおこなっている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	1	研修や講演会の案内の掲示をおこなったり、卒園者の保護者の話を聞く機会を設けている。	「講演会」「交流会」「座談会」「情報提供」など、親のニーズに合った内容の活動を検討する。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	17	1	法人のホームページや施設内の掲示はもちろん、契約時や料金改定の時に、書面を見ながら丁寧に説明をしている。	継続。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18	0	入口相談で詳しいアセスメントと相談を行い、利用する時に、担当職員や児童発達支援管理責任者に引継ぎをしている。また、契約時にもアセスメントを行ない、子どもの特性は発達に沿った支援目標や、保護者のニーズを反映した計画作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	18	0	面接時やモニタリング時に説明を行い同意を得ている。	支援内容を具体的に、保護者が分かるような丁寧な説明が職員全員が行なえるようにしていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	17	1	療育後の時間や、保護者の方に声をかけ面談の時間をもち支援している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	3	役員会（親の会）があり、報告をおこなっている。また行事等については、掲示板やLINE等を使い周知できるよう支援している。夏祭り等行事を開催し、兄弟が参加、交流する機会を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18	0	迅速に対応できるよう情報等の共有を行っている。また、療育後保護者からの相談を受けられる時間を設けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	18	0	ひまわり広報誌年6回、行事等の内容をホームページ等にて情報発信している。食育等については、毎月「食育レシピ」を掲示している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18	0	特に他機関との連携で使用する場合は保護者に承諾書をとるなど徹底している。ホームページの写真等も同意がないものは控え、個人が特定できないようにしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18	0	療育内容の流れを写真で提示し、視覚情報と聴覚情報を同時に入力できるように配慮。運営規定や重要事項にルビをふるなど配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17	0	地域貢献事業（ひまわり開放日、移動動物園、講演会）の実施。地域の障がい者、高齢者、小学校、保育園等を招待している。	今後も対象者や内容について、地域住民に情報発信したり、参加していただけるよう様々な企画を考えていく。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	18	0	各マニュアルについては、策定している。また発生を想定した訓練もおこなっている。	マニュアルは職員に対しては周知や訓練は行なっているが、今後は訓練の回数を多くし、利用者にも周知してもらえらる方法を検討していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18	0	BCPをもとに訓練をおこなっている。必要に応じて見直しを行っている。	

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	18	0	最初の相談や契約時に確認している。わからない点についても保護者からの聞き取りをおこなっている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	3	対応し、職員間で共有している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	17	1	防犯研修、災害訓練をおこなっている。毎月1回安全チェックを行っている。事故が起きた時は対策委員会を設置して検証を行なっている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	18	0	災害時を想定した避難訓練等を行い連携が図れるようにしている。	安全計画の内容を保護者にもしっかり周知してもらえる方法を工夫していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18	0	毎日夕礼にて確認をし、毎月集計し内容を職場会議で配布。委員会を通して事例検討研修を行う。	子どもの事故や怪我をした時の対処法について研修の機会を設ける。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18	0	虐待防止のため、チェックリストを作成、チェックし集計をしている。また会議等で集計結果を報告。必要に応じて研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	18	0	身体拘束が必要な児童については保護者の同意を得て計画書に記載したり、子どもの行動を止めるなどした場合は、保護者に理由を説明をし、記録に記載している。	